

# クライアントの『色のニーズ』に応え続ける“染色の巧集団”

**■ 依頼された色にアジャストさせる職人眼**

ここでは1日10~20色、年間で1,000色もの色を染めている、レザーにおける“染めの匠集団”。サンプルで持ち込まれた革に対する、再現性・正確性は業界でも高い信頼を誇っている。革の仕上がりを見る際には“色評価用蛍光灯”を二種類用意して、微妙な職人眼で色彩を見極めているとのこと。

染める材料は主にビッグレザーを中心とし、シープ、ゴートなどとくに小判ものを得意とする。特に婦人靴向けの甲革が多いが、最近では財布やパスケースといった革小物が増えてきたという。

「今までは希望の色に染めることが仕事でしたが、最近では間屋さんからのリクエストで一加工の手間をかけることが増えてきました。ヒートシュリンクやグレージ加工、縮絨加工などは弊社でも得意です。」と会長の兼子隆之さんは話す。

**■ 技術力を継承する若手世代**

他にも最近増えているのが、海外から輸入した革の色がブレているので、修正してほしいというオーダー。よく見たら芯通しされていないなど、すでに仕上げが終わっているが、製品になってからの加工のリクエストも少なくない。

「難しいケースも多いですね。どちらかで噂を聞きつけて『ここならやってくれると聞いたので』と言われると、技

術力を頼ってきてくれたのかと思ひ有難いです。ただ工業製品ではないので、思っている色に染まらないことも少なくないです。そんな時には『どうかこの色に染まって下さい』と祈るような気持ちのときもありますよ」と兼子会長。

現在の兼子優介社長は4代目。2007年に入社した次男の兼子洋之さんは、タンナーの修行としてバルセロナでの仕事経験も持つプロフェッショナル。現在は若手世代が、培ってきた先人たちの高い技術を継承していくことに情熱を注いでいる。「染色」の深淵な世界に、新しいアイデアが重なっていくと思うと今後は楽しみである。

**Editor's Memo**

- ◆ 最近では少なくなった、瑪瑙(メノウ)やガラス棒で革をこすって磨き上げる“グレージ加工”も得意
- ◆ 同じ黒でも「青みの黒」「赤みの黒」など微妙なニュアンスまでも再現する技術力
- ◆ 染色は一旦染めると薄く戻せない。薄めに調合して少しづつ濃くするというプロセスが重要

取締役会長  
兼子 隆之  
Kaneko Takayuki  
(右)  
兼子 洋之  
Kaneko Hiroyuki



問い合わせ KANEKO HIKAKU SENSYOKU KOJYO CO.,LTD.

有限会社兼子皮革染色工場  
〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-14-25

TEL.03-3612-3710  
FAX.03-3612-3665  
hkaneko25@gmail.com



左から  
取締役会長  
兼子隆之 Kaneko Takayuki  
兼子洋之 Kaneko Hiroyuki  
代表取締役社長  
兼子優介 Kaneko Yuusuke  
取締役専務  
兼子拓二 Kaneko Kouji



**お客さまへ**

当社はビッグスキンを主力にキップ・ゴード・バッファロー等の革も製造し、バッグ・ベルト・袋物・衣料・小物向けに提供しています。ビッグスキンにおいては経験豊かな技術でボリュームあるタイプから薄いタイプまで、特長を活かした価値ある新素材を開発し製造しております。定番素材は在庫で対応、個別のご要望に対応した受注生産も行っています。

**取扱素材・加工二覧 自社内で可能 連携工場に対応**

- 豚革 ■ 牛革 ■ ゴード山羊 ■ シープ羊
- タンニン鞣し  混合鞣し  クロム鞣し  ホワイト鞣し  エコレザー認定可
- 下地**
- オリジナル下地対応 最小ロット30枚くらいから ■ サンプル製作可
- 他社から手配可能  スエード
- 下地の在庫あり  スエード 色 小売可
- 仕上げ方法**
- サンプル製作可 最小ロット 30枚くらいから
- 顔料 ■ 染料 ■ 素上げ ■ 抗菌加工 ■ アンチック ■ シュリンク
- しぼり染 ■ 収縮  手塗り ■ 撥水加工 ■ クラック ■ ブルアップ
- パール加工 ■ オイル  ウォッシュャブル
- 後加工**
- 柔軟仕上げ ■ グレージング  フィルム加工  箔加工  型押し  漉き
- 縮絨加工  パンチング  転写プリント  シルク印刷  カッティング
- 3D加工  プリーツ  吟スリ加工  計量  インクジェットプリント



革に水を含ませた後、高温にセットしたドラムでミーリングを行い、独特のシボを持つ革に仕上げました。



アニリン染料革にカゼインを塗布した後、ガラス玉で磨き、高級感のある艶を作りました。



タンニンなめしのビッグスキンを、染料とカゼインで仕上げグレージングを掛けて、ワックスをコーティングしています。



タンニンなめしのビッグレザーを染料で手染めして、カゼインとグレージングで仕上げました。



# 独自の技術、立体感の表現で、デザイナーの創作意欲を刺激

## ■多様な加工と高い技術力を誇る

日本における革漉の元祖、墨田革漉。各種加工のエキスパートとして知られ、社名の通り革を漉く(厚さを調整する)業務のリーディングカンパニーだ。型押し、デジタルパンチング、ブリーツ、スペシャルドット、デジタルカット等と、さまざまな加工機がそろそろ。

最新鋭3D加工も導入。革に模様を施した独自の立体感の表現が可能となった。同社は東京ピグスキンの加工が多数を占めている。ナイフカットは、革に切り込みを斜めに入れて、模様をつけ、切り目の部分を起こすことによる表面効果が秀逸。先端技術の粋を集めた加工ながら、ナチュラルでプリミティブ。さらにメタリック加工をプラスすると表情がガラリと変化。クリエイターとのコラボにより製品化され、好評を得た。

アニマルライツ(動物の権利)が重視され、ファーフリーが広がるなか、フェイクファーではない、ナチュラルな代替素材が求められているが、ナイフカット加工は、その選択肢のひとつだ。

著名なブランドでも採用された。次世代のファッションレザー素材として期待が高まる。

## ■クリエイターとのコラボで新素材を開発

国内外の人気ブランドの財布、革小物でも採用。加工、表面感が特徴的なレザーがシンプルなデザインを引き立て、製品の大きな魅力となる。

ショールームは、技術が蓄積されたデータベース、ライブラリー、ミュージアムがひとつになったような空間。これまでつくられたレザーは数え切れないほど。

「午前中から夕方までご覧になっていた方もいらっしやいました。革好きにはたまらないと思います。うちの技術を生かして、加工、素材を掛け合わせて、新しいファッション製品、レザートレンドをつくっていただけたら、こんなにうれしいことはありません」と顧問の佐藤功さん。

例えば、ヒョウ柄だけでも、リアルなプリントから手描タッチまでバリエーション豊富。多数の型があり、加工と技術の組合せで、新鮮な素材感を引き出す。可塑性に優れた豚革との相性も抜群だ。そのポテンシャルは計り知れない。

佐藤元治会長、佐藤泰二社長をはじめ、スタッフの親身な対応と、高い技術力により、モノづくりをサポートしてくれる、あたたかなファミリーのようなファクトリーだ。

### Editor's Memo

- ◆皮革面積計量の領域でもパイオニア的存在
- ◆多くの新進クリエイターやデザイナー達も同社の素材使用し好評
- ◆独自の立体感やバッグ、シューズだけでなく財布、革小物の個性を引き出す

代表取締役社長  
佐藤 泰二 (左)  
Taiji Sato  
顧問  
佐藤 功  
Isao Sato  
代表取締役会長  
佐藤 元治 (右)  
Motoharu Sato



### 問い合わせ

## 墨田革漉工業株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広 4-43-4

TEL. 03-3613-2131 FAX. 03-3619-5380  
skltd@nifty.com

### お客さまへ

世界の素材情報を元に『メイドイン東京のピグスキン』をはじめ、各種素材に流行最先端の加工をいたします。弊社は、加工のスペシャリストとして型押し、パンチング、ブリーツ、スペシャルドット、箔貼、インクジェットプリント、カット加工等に対応しております。

皮革面積計量も承ります。特に革漉加工の元祖として薄漉き技術は、他の追従を許しません。貴社の新商品開発の要望に応じて、革に多彩な革の表情作りをお手伝い致します。お気軽にご相談下さい。

持ち込みいただいた素材に対応いたします。ご相談ください※革以外も可能です

**取扱素材・加工一覧 自社内で可能 連携工場でも対応**

- 豚革 ■ 牛革 ■ ゴード山羊 ■ シープ羊 ■ コードバン、ワニ、ヘビ
- タンニン鞣し ■ 混合鞣し ■ クロム鞣し ■ ホホワイト鞣し ■ エコレザー認定可

**下地**

- オリジナル下地対応 最小ロット 枚くらいから  サンプル製作可
- 下地を手配可能  スエード  ライニング
- 下地の在庫あり  スエード 80色 小売可

**仕上げ方法**

- サンプル製作可 最小ロット 5枚くらいから
- 顔料  染料  素上げ  抗菌加工  アンチック  シュリンク
- しぼり染  収縮  手塗り  撥水加工  クラック  プルアップ
- パール加工  オイル  ウォッシュャブル

**後加工**

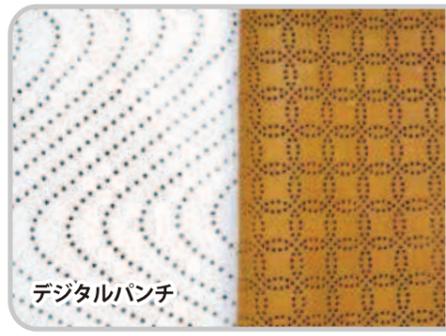
- 柔軟仕上げ  グレージング  フィルム加工  箔加工  型押し  漉き
- 縮絨加工  パンチング  転写プリント  シルク印刷  カット加工
- 3D加工  ブリーツ  吟スリ加工  計量  インクジェットプリント

SUMIDA KAWASUKI CO.,LTD.



スペシャルドット

革の表面に金銀様々の箔を貼りメタリック調に仕上げたり様々なフィルムをつけて柄を表現する加工です。



デジタルパンチ

驚くようなオリジナルデザインができるようになりました。あなたのブランドを革にパンチします。



インクジェットプリント

写真やイラスト、プリント柄など、お客様が用意したデジタルデータを1枚から革や合成皮革、不織布の上にプリントします。



ブリーツ

革にしわや折り目をつける加工です。デザインにより0.3~0.6mmの漉き加工を事前に施します。



# デザイン性×先進性 時代を反映するニューノーマルなものづくり

## 株式会社墨田キール

代表取締役  
長谷川 憲司  
Kenji Hasegawa



### ■多様な加工と高い技術力を誇る

革づくりは、ひとりではできない。原皮の生産、鞣し、加工、染色、計量、革漉きなど、業務内容が細分化され、緊密に連携している。本誌の掲載企業・事業者も同様。墨田区東墨田周辺エリア全体がまるでワンチームのよう。フラットにつながり、コミュニケーションをしながら切磋琢磨。次世代へ向け皮革産業を守り続ける。

ときには人的交流も。惜しまれつつ事業停止したファクトリーから優秀なスタッフを迎え入れた。

「ものづくりはもちろん、データベース、サンプル分類・管理の最適化に取り組むなど、新しい視点で風を吹き込んでくれて、弊社もパワーアップしていますよ」と代表取締役 長谷川憲司さん。

令和2年度東京都功労者表彰式では、全日本皮革計量協会関東支部長をはじめとした長年の皮革業界への貢献が認められ、東京都功労者(産業振興功労)として表彰された。「これからも業界のために社会のために尽力していきたい。気持ちが引き締まります」(長谷川さん)。今後の展望を熱く語り、真摯な眼差しで襟を正す。

### ■ユーザーに寄り添い、暮らしに役立つ 新しい機能性

アフターコロナ時代を見据え、自社の個性をアピールすべくオリジナルブランド「カラフルキールボックス」を強化。豚革の特性を最大限に引き出し、革の染色から製品までを一貫して製造。フラミンゴ、クリームメロンソーダ、といったキャッチーなネーミングで27色

を展開している。

2020年夏、マスクケースを開発。東京製革業産地振興協議会が東京ソラマチ・墨田区産業観光プラザ すみだまち処で行う恒例イベント「Souvenir by TOKYO LEATHER」でテスト販売をスタートし、上々の滑り出しとなった。

「個性的な表面効果が楽しい皮革素材と抗菌加工を施した生地を貼り合わせたケースがおかげさまで売れています。このほか、ハンドペイントなどアート感覚の革づくりも好評です。製作過程の動画をSNSで公開する構想も練っています」(長谷川さん) クリエイターから高い信頼を獲得しているデザイン性、ファッション性を活かしつつ、ユーザーに寄り添う機能性の創造、暮らしに役立つ革づくりを切り拓く。

### Editor's Memo

◆シルクスクリーン、染色を中心にインクジェット、転写プリント、箔押しなどを駆使した複雑な加工、上質で特殊な皮革素材を手がける。箔やフィルムの色のパリエーションが豊富で、フィルム×下地×箔の組合せは無限

◆人気イベント「浅草エーラウンド」と東京メトロとのコラボレーションによるレザークラフトキット「革でつくる銀座線」に協力。豚ヌメ革にインクジェットプリントを施し、銀座線開業当初の1000形車両デザインを復刻。準備数が即売に

◆長男の長谷川健太さんは、大学で化学を専攻。最新の知識、若い世代の感性でサポートする。ファクトリーをリニューアル。設備だけでなくバッグヤードをデータで管理。多様なオファーにもクイックに対応



### 問い合わせ

SUMIDA CUIR CO.,LTD.  
**株式会社 墨田キール**  
〒131-0041 東京都墨田区八広 4-9-2  
TEL.03-3617-8551 FAX.03-3617-8553



### お客さまへ

ファッション性を重視した革をお探ならまずは弊社にご相談ください。各種加工(インクジェットプリント、転写フィルム、箔押し、型押し、染色、ロールプリント、頭はり、汚し、はたき落とし等)により、お客様のさまざまなご要望にお応えします。

また、異素材(フェイクファーやレース等)の張り合わせも承ります。国内生産のピッグスキンを始め、その他の革(羊、ヤギ、キップ等)にも対応しております。貴社だけのオリジナルレザーをご提供いたします。

**取扱素材・加工一覧** 自社内で可能 連携工場に対応

- 豚革 ■ 牛革 ■ ゴード山羊 ■ シープ羊
- タンニン鞣し ■ 混合鞣し ■ クロム鞣し ■ ホワイト鞣し ■ エコレザー認定可

**下地**

- オリジナル下地対応 最小ロット30枚くらいから  サンプル製作可
- 下地を手配可能
- 下地の在庫あり

**仕上げ方法**

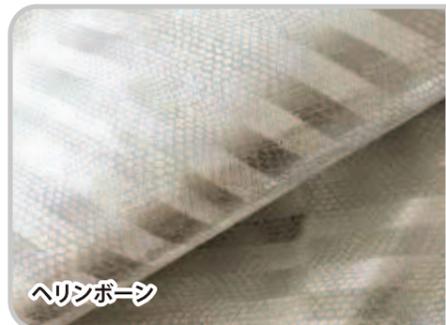
- サンプル製作可 最小ロット 1枚から
- 顔料 ■ 染料 ■ 素上げ ▲ 抗菌加工 ■ アンチック  シュリンク
- ▲ しぼり染  収縮 ■ 手塗り ■ 撥水加工 ■ クラック ■ プルアップ
- パール加工 ■ オイル ▲ ウォッシュャブル

**後加工**

- ▲ 柔軟仕上げ ■ グレージング ■ フィルム加工 ■ 箔加工 ■ 型押し ▲ 漉き
- ▲ 縮絨加工 ▲ バンチング ■ 転写プリント ▲ シルク印刷 ▲ カッティング
- ▲ 3D加工 ▲ プリーツ ▲ 吟スリ加工 ■ 計量 ■ インクジェットプリント



**アメ豚**  
タンニンなめしによるエコレザー。高級カバン、ランドセル等に使われています。



**ヘリンボーン**  
箔と組み合わせることにより、光の反射が色をツートンに見せる不思議な表面感です。



**スネーク**  
ロールプリント、プラス、スネークのカット型を使用してリアルな蛇を表現しました。



**グレンチェック**  
一筋のラメを入れてシックな高級感の中にキラリと光る個性的な革を提案いたします。



## 拡張した新しい工場で、東京の地場産業であるピッグレザーを広く知らしめたい

### ■ 明るいミントグリーンを効かせた新工場を新設

有限会社T.M.Y'sが、以前の本社からほど近い場所に新たに工場をオープンさせた。墨田区内で新しい工場が設立されるのは、約20年ぶりとのこと。正式なお披露目は11月中旬を予定している(10月現在)。

フロアは4階建てで、前の工場に比べると1.5倍の広さに拡大した。建物には爽やかなミントグリーンがアクセントとなり、遠くからも目に留まりやすい

1階にはステンレス製のドラムやフレッシングマシン、高圧プレス機など大型の機械が並ぶ。厳密な温度管理が必要なめし作業のために、温度調節ができるドラムを新たに導入した。2階には大型レーンを備えた塗装機、3階には移動式の革乾燥機も設置。フロアの一角には革を展示できるショールームも準備中とのこと。

「まず一般の方々に見てもらいたいことをイメージして、この工場の導線をデザインしました。安全性を確保しながら、1階は加工・染色、2階は仕上げ場、3階は乾燥場・展示室と、作業の流れで見て頂けるように、工場の全体像がイメージできるレイアウトにしています。革ができるまでのプロセスを、イラスト等でお伝えすることも計画中です。また4階からの荒川の眺めが素晴らしいので、ここは一般の方と私たちのスタッフとが交流できるような、ラウンジにしたいと思っています」と代表取締役の渡邊守夫社長は笑顔で話す。

### ■ 次世代が引き継ぐ、革新と伝統の革づくり

T.M.Y'sでもコロナの影響で、約7割を占めていた靴用の革の売れ行きが一気に滞った。だが渡邊社長は発想を切り替え、早めに靴から衣料向けの革づくりへとシフト。

現在はピッグやシープといった小判ものだけでなく、牛革の半切が扱えるように準備もしているという。

また入社5年目となった義理の息子さんが大きな戦力へと成長し、現在も新しい革づくりに余念がない。「このめしや染色の技術は、一度失ってしまったら二度と再現できないため、なくしてしまうのは余りにも勿体ない。自分自身もこの伝統ある仕事に誇りを持っていて、将来につなげていく必要があると感じます。常にチャレンジを忘れない父を心から尊敬しています」と力強く話す三代目の加藤友樹さん。同じ処方であっても日々違った結果になる加工技術に、奥深さを感じているとのこと。

いつも二人で相談しながら、この工場の未来の姿をイメージしているという。例えば「4階ラウンジの壁面には“革で作った壁紙”を貼ってみよう」などの新しいアイデアも。今後はSNSでの情報発信や、ECサイトでの革の販売などに着手し、若い人たちを巻き込んだムーブメントを起こしていきたい、とのことだ。

### Editor's Memo

◆工場のデザインやレイアウトは、プロのデザイナーを入れて本格的に設計した。4階からの荒川の眺望の良さに気づき、急速ラウンジへと設計を変更したのだとか

◆一般の方が工場見学に来てもらえることは、ここに移設する前からの渡邊社長の夢。「東京の地場産業であるピッグレザーを広く知ってもらいたい」

◆二代目の義理の息子さんは以前はクリンリネス業界で働いており、資源を大切にすることやエコロジー意識は人一倍高い。この業界からSDGs的な考え方を発信したい思いも

代表取締役(右)  
渡邊 守夫  
Morio Watanabe

営業(左)  
加藤 友樹  
Yuuki Katoh



### 問い合わせ

## 有限会社T.M.Y's

〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-14-21

TEL.03-5630-8189 FAX.03-3612-5111

tmy\_s3@yahoo.co.jp

T.M.Y's CO.,LTD.



### お客さまへ

私達の会社は、主にシープのスエード革を染色して販売しています。常時100色ほどの在庫を揃えて、1枚からでもお客様に提供できるように日々努力しています。最近では、これらのシープスエードに、フィルムや箔を貼ったり、型押しをするなどデザイン性を高めた革を制作しています。さらに、エナメル加工に、シュリンクやパールを加えたり、絞って革の表情を変えるなど、個性的で注目される革も開発しています。

### 取扱素材・加工一覧

### 自社内で可能

### 連携工場に対応

- 豚革  牛革  ゴード山羊  シープ羊
- タンニン鞣し  混合鞣し  クロム鞣し  ホワイト鞣し  エコレザー認定可

### 下地

- オリジナル下地対応 最小ロット10枚くらいから  サンプル製作可
- 他社から手配可能  スエード  スエード以外もご相談ください
- 下地の在庫あり  スエード 80色 小売可  キット、シープ、パッファロー

### 仕上げ方法

- サンプル製作可 最小ロット 1枚から
- 顔料  染料  素上げ  抗菌加工  アンチック  シュリンク
- しぼり染  収縮  手塗り  撥水加工  クラック  プルアップ
- パール加工  オイル  ウォッシュャブル

### 後加工

- 柔軟仕上げ  グレージング  フィルム加工  箔加工  型押し  漉き
- 縮絨加工  パンチング  転写プリント  シルク印刷  カッティング
- 3D加工  プリーツ  吟スリ加工  計量  インクジェットプリント



ラム・シュリンク

羊の表面をシュリンクさせて、その上に頭ハリをして箔を貼った革です。



ラム・ソフトタッチ

衣料用に作った革で厚みを0.75に漉き、裏側をコーティングを施しました。



防水革

スペイン革の靴革用の防水革です。雨の日には防水の効果を発揮します。



羊革スエード防水革

羊革のスエードを防水した革です。



# ビッグメゾンからのオファーにも応える、皮革開発力の深化・進化

**■革素材から製品まで一貫生産**

ティグレは付加価値性の高いレザーを数多く手がけ、革づくりから製品まで一貫して生産する。製品はこれまで百貨店やセレクトショップでのイベント、無印良品での取扱いなど着実に幅を広げてきた。さらにニューブランドTOKYO LEATHER FACTORYを立ち上げた。代々引き継がれた技術や経験を活かし、現代らしい新たな革の魅力を伝えていく。『すみだモダン』ブランドにも認証されている。特長である「製品染め」は、植物タンニン革を用いたバッグを縫製後、製品全体をドラムで染めるので、ステッチや裏地にまで染料が入り込む。金具は使い込んだ味わいに。熟練の皮革職人が、オイルで磨き、手もみでしなやかさを加える。ウォッシュアップレザーのバッグはロングヒット商品として成長。市販の中性洗剤で洗濯することで、コーヒー、しょう油などの食品汚れも落ちやすい。洗うほどに味わいが増し、使うほどに馴染んでいくことで自分だけのバッグに育ち、ファッション好きなユーザーにも評価されている。革エプロンやカレンダーなど新アイテムにもトライし、ライフスタイル提案を目指している。

**■精緻な技術力、旺盛な探求心で  
ロングセラー革も**

「販売経験を重ねるうち、製品メーカーとしての発想ができるようになり、革のつくり方が変わってきました。お客さまからお聞きした使い勝手や好みなどの声は弊社の

財産です。OEMや別注、素材開発など多様なご要望にも引き続き対応強化します。国内で自給できる原料である豚を生かし、特徴的な革をつくっていきたい」と代表取締役の加藤文夫さん。

皮革素材にはロングセラーも多い。塩縮加工で繊細な花々を表現した「スモールフラワー」は、20年以上オーダーが絶えない。シューズ、バッグなど、多様な製品に華やぎを添え続ける。フェイクキルティング加工は完成度の高さが評判となり、ビッグメゾンからのオーダーも実現した。和紙のようなニュアンスの「マーキュリー」は軽さに驚く。立体的なモチーフ、色柄も多彩で現代アートのよう。そのクオリティに精緻な技術力、旺盛な探求心が宿る。タンナーとしての機能とともに、製品や皮革素材を購入できるギャラリーのようなショールームをオープン。テレビ、雑誌などでも取り上げられ話題になっている。

**Editor's Memo**

- ◆製品部門ではバッグだけでなく、財布など革小物も販売し、好評
- ◆テレビ番組、ナチュラルファッション誌などで紹介され、女性ファンが多い
- ◆オンライン工場見学ができる動画を自社サイトで公開

代表取締役  
加藤 文夫  
Fumio Katoh



問い合わせ  
**有限会社ティグレ**  
〒131-0043 東京都墨田区立花 4-8-17 鈴梅ビル 1階  
TEL.03-3617-2997 FAX.03-3617-2998  
tigreleather@wind.ocn.ne.jp



お客さまへ  
当社はピッグスキンを主力にキップ・ゴード・バップアロー等の革も製造し、バッグ・ベルト・袋物・衣料・小物向けに提供しています。ピッグスキンにおいては経験豊かな技術でボリュームあるタイプから薄いタイプまで、特長を活かした価値ある新素材を開発し製造しております。定番素材は在庫で対応、個別のご要望に対応した受注生産も行っています。

**取扱素材・加工一覽 自社内で可能 連携工場に対応**

- 豚革 ■ 牛革 ■ ゴード山羊 ■ シープ羊
- タンニン鞣し □ 混合鞣し ■ クロム鞣し □ ホホワイト鞣し □ エコレザー認定可
- 下地**
- オリジナル下地対応 最小ロット10枚くらいから ■ サンプル製作可
- 他社から手配可能 ■ スエード ..... ■ クリアスエード
- 下地の在庫あり ■ スエード1色 小売可 ..... ■ 吟付きスムーズ 小売可
- 仕上げ方法**
- サンプル製作可 最小ロット 1枚から
- 顔料 ■ 染料 ■ 素上げ □ 抗菌加工 ■ アンチック ■ シュリンク
- しぼり染 ■ 収縮 ■ 手塗り ■ 撥水加工 ■ クラック ■ ブルアップ
- パール加工 ■ オイル ■ ウォッシュアップ
- 後加工**
- ▲ 柔軟仕上げ ▲ グレージング ▲ フィルム加工 ▲ 箔加工 ▲ 型押し □ 漉き
- ▲ 縮絨加工 □ バンチング □ 転写プリント ▲ シルク印刷 □ カッティング
- 3D加工 ▲ プリーツ ▲ 吟スリ加工 □ 計量 □ インクジェットプリント

